

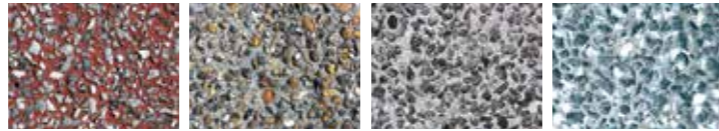
半たわみ性天然石彩舗装 ダイヤツインナチュラル

街並みの印象は道路舗装表面の仕上げで大きく変わります。
天然石を用いて表面をプラスト処理し、上質な空間を演出する舗装工法で、カラーミルクと組み合わせることも可能です。さらに、化粧目地を入れることにより、テラゾー風に仕上げることができます。

用途
一般道路、歴史的街並の道路、歩道、園路、遊歩道、歩道橋、ホテル・観光施設の外構など



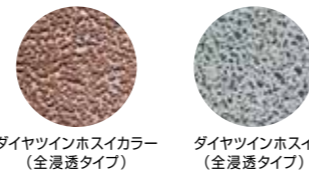
● 各種骨材の表面仕上げ



保水型半たわみ性舗装 PAT. ダイヤツインホスイ

保水性舗装は、水の蒸発潜熱を利用して路面の温度を下げます。ヒートアイランド現象の緩和が図れる舗装工法で、カラーミルクと組み合わせも可能です。

用途
車道、歩道、広場、園路、アミューズメントパーク、駐車場、バスターミナル、工場舗装など



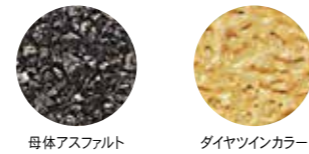
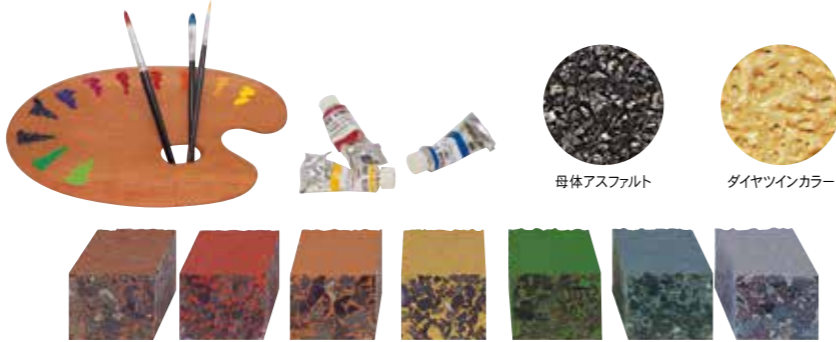
ダイヤツインホスイカラー (全浸透タイプ)

ダイヤツインホスイ (全浸透タイプ)

半たわみ性カラー舗装 ダイヤツインカラー

自在な着色性をもつアメニティな舗装工法です。
● 空隙率の高い母体アスコンに、浸透性の優れたプレミックスタイプのカラーミルクを充填するので、安定した強度が得られます。
● 無機顔料をプレミックスしますので、さまざまなカラー着色が可能です。
● 反射率が高く、温度上昇は通常のアスファルト舗装より低減させることができます。

用途
一般道路、歩道、園路、多目的広場、遊歩道、歩道橋、観光・公共施設外構、工場舗装など



母体アスファルト

ダイヤツインカラー

(財)建材試験センター防火性能試験合格
ダイヤツインシリーズ JIS A1321規定 難燃2級の表面試験

PAT. 特許取得製品
ダイヤツイン高強度 特許 第6535193号

PAT. 特許取得工法
ダイヤツインホスイ 特許 第4644561号

※カタログ中の一部写真はイメージとして使用しています。

東京舗装工業株式会社



〒101-0021 東京都千代田区外神田二丁目4番4号 第一電波ビル5階
本店営業部 Tel.03-3253-5981 Fax.03-3253-5983
支店 関東／東北／関西／中部／九州
営業所 東京／横浜／埼玉／茨城／福島／北海道／飛騨／中国
●このカタログは、2023年11月現在のものです。

長寿命化舗装に対応し、早期交通開放を実現する半たわみ性舗装ラインナップ

半たわみ性舗装シリーズ

シリーズ最強の
ダイヤツインミラクルを加え
広がるニーズ。



人と道と自然のハーモニー

日本コムシスグループ
東京舗装工業株式会社

パワーUP

さらに早く・強く、
半たわみ性舗装の進化は
東京舗装から。

高強度型超速硬半たわみ性舗装

ダイヤツインミラクル

交通開放2時間
最短1時間

圧縮強度5MPa以上を2時間の養生時間で実現します。また、養生時間の短縮で日施工量の増加が可能となっています。



耐荷重性UP

材齢7日で圧縮強度が40MPa以上の高強度が得られますので、重荷重を繰り返す場所での長期耐久性の向上が図れます。



超速硬型半たわみ性舗装

ダイヤツインスーパー

3時間で交通開放できる半たわみ性舗装を業界に先駆け開発。重交通道路の交差点や耐荷重性を求められる場所の定番舗装となっています。



【用途】 交差点、料金所、バスターミナル、トラックターミナル、パーキングエリア、埠頭、トンネル内明色舗装など

早強型半たわみ性舗装

ダイヤツインファスト

新設工事や時間的余裕のある場所ではダイヤツインファストが採用されています。改質アスファルト舗装と比較して数倍の強度がある長寿命化舗装です。



【用途】 コンテナヤード、競技場、公園、ホテル等の外構、パーキングエリア、トンネル内明色舗装など

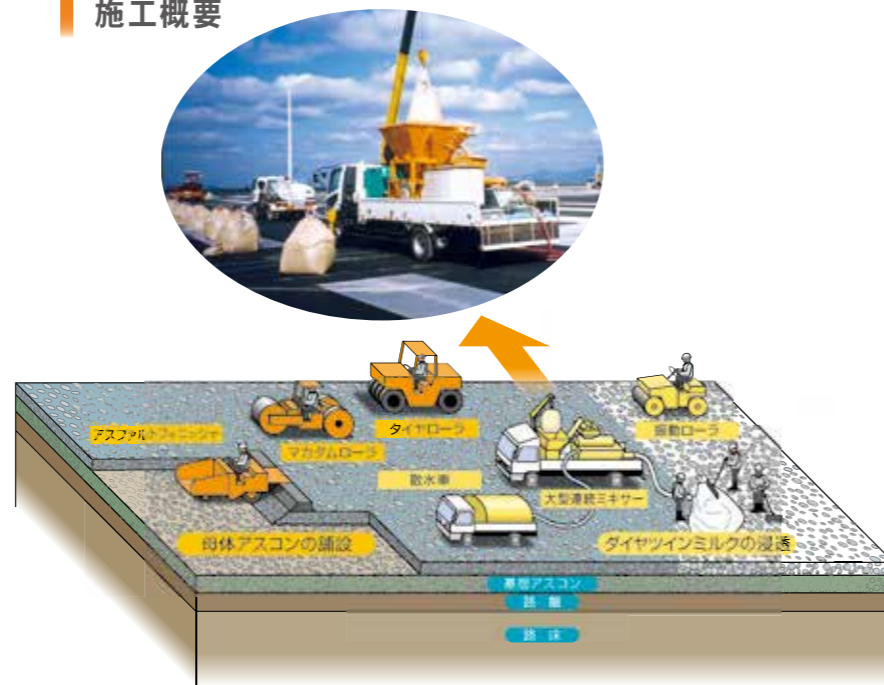
耐凍害性UP

寒冷地の過酷な条件下での凍害劣化対策になります。また特に、融雪剤散布を行う箇所や海辺の塩害対策にも威力を発揮します。

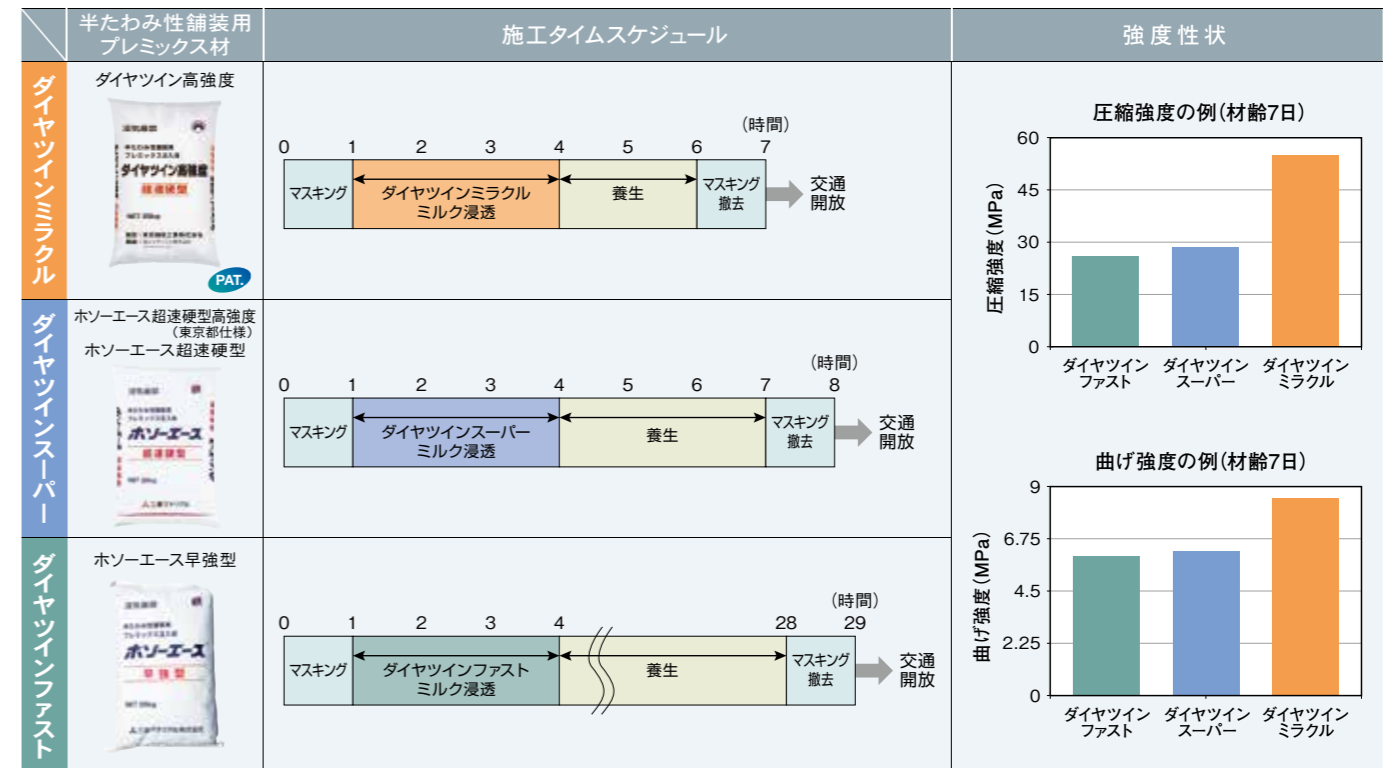


【用途】 交差点、料金所、橋梁伸縮装置部、コンテナヤード、バスターミナル、凍結を繰り返す箇所、トラックターミナルなど

施工概要



高性能セメントミルクの施工タイムスケジュールと性状



“ダイヤツインスーパー”をパワーUPした高強度型超速硬半たわみ性舗装“ダイヤツインミラクル”を加え、充実のラインナップ、ダイヤツインシリーズ。

交通開放時間、耐荷重性、耐凍害性をUPし、従来の定番エリアから対応エリアを一段と拡げました。

当社とMUマテックス社で共同開発した、プレミックス材“ダイヤツイン高強度”等と現場混練・連続供給の“ダイヤグラウトシステム”を基軸に、これからの半たわみ性舗装をリードしていきます。